



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## 本年度の方針

第五十四代会長 和泉由起夫



昭和39年7月22日、入間ロータリークラブを親クラブとして36名のチャーターメンバーで船出され歴史と伝統そして功績ある飯能ロータリークラブ。2017～2018年度の会長を拝命いたしました。その責務を担うにあたって肩の荷が極めて重く感じるところでございます。

長くもあり短くもあるこれからの一年間クラブの運営の一翼を担うべく最善をつくす決意でございます。

どうぞ皆様の倍旧のご指導・ご支援を仰げますよう宜しくお願い申し上げます。

さて、今年度の国際ロータリー会長の Ian Riseley (イアン ライズリー) 氏は、奉仕を通じて人びとの人生に変化をもたらせるとして、「ロータリー：変化をもたらす」をテーマに掲げられました。

その中で私達がロータリーに留まり続けるのは、「変化をもたらす」ことにより充実感を得ることができるからとも言っておられます。

また、国際ロータリー2570地区2017～2018年度ガバナー細井保雄氏は、新たなリーダーが就任するごとに方向性が変わる事を防ぐため2010年7月より確立したRI戦略計画3つの柱「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共のイメージと認知度の向上」を基本に地区運営にあたり「RI戦略計画をみんなで一緒に実行しよう!!」をテーマに掲げられました。

このように、ガバナーは理想的なクラブ作りを目指されておられます。

そして今、多くの社会活動団体の構成メンバーの数がじり貧しています。

飯能クラブも引き続き会員増強が大きな課題のひとつと云えましょう。

地区目標数として会員51人以上のクラブは純増2名を望んでいます。

先に述べたRI戦略計画を基に飯能クラブとして実践、実行力を優先して会員同士の親睦をさらに深め奨学生をはじめ、国際理解の推進、奉仕の理念を理解して職業的な倫理観を仕事に生かす四つのテストを真撃に言行していきたいと思えます。

自分自身と自分の職業(仕事)を磨き地域や国際社会に奉仕をする。

④人道的に奉仕する事により③世間に良いイメージを持ってもらう、この事により②仲間が増える。この3つをリンクしてサイクルがうまく回るようにクラブ活動を運営していきたいと思えます。

# 任期を終えて

第五十四代会長 和泉 由起夫



2017 - 2018年度の会長を拝命して12ヶ月任期もまもなく閉じようとしていますが、ここまで漕ぎ着けて来られましたのはひとえに皆様方のご支援ご協力の賜物でございます。紙面をお借りして御礼と感謝を申し上げます。

とりわけ役員の方、常任委員会委員長、そして委員会委員長のみなさんには大変お世話になり、ありがとうございました。

また、今年度当クラブより国際ロータリー 2570 地区第3グループにおける木川ガバナー補佐を小川年度に擁立されました事、誠に意義深い事でございます。

IMを振り返り見ますと木川ガバナー補佐のご活躍、中里実行委員長を始め実行委員の威厳ある運営、ミーティングに花を添えて頂いた当クラブ選りすぐりのエンターテナーの皆さん、関係者の皆さんありがとうございました。

お陰様でIMも成功裏に開催する事ができました。まだ熱き余韻も残り地区の会合でもまだ話題にのぼるところでもあります。

今年度の国際ロータリー会長イアン・ライズリー氏の「ロータリー：変化をもたらす」というテーマに、国際ロータリー 2570 地区ガバナー細井保雄氏はそれを受けて国際ロータリーが示した3つの優先項目の「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」を基に地区運営に携わり、そこから湧き出た19の地区目標で理想的なクラブ作りを目指してこられました。当クラブではこれらを落としこんだ3つのリンクのサイクル 

人道的に奉仕する事
-----------

世間にロータリーの良いイメージ作り
-------------------

 それにより、

仲間が増える
--------

 これを实践する為に18の行動目標を立ててやってまいりました。これらの進捗及び結果はいびつではありましたが、足りない所は次の会長さんに託して、まずは次年度の島田年度計画を全面的に応援して参りたいと思います。